

令和2年度

後三年合戦金沢柵公開講座

—金沢城主金沢右京亮家光から
大浦光信、そして津軽為信へ—

12月6日(日) 10:00~15:00

横手市金沢孔城館 (横手市金沢中野)

■主催：横手市教育委員会 ■共催：鱒ヶ沢町教育委員会
■協力：歴史文化の里づくりをすすめる会

入場無料

定員

50名(先着順)

申し込み期限

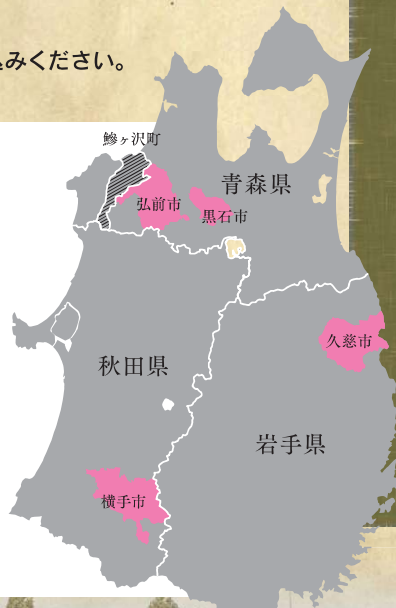
11月20日(金)

申込み

①住所・②氏名・③電話番号を明記しFAXまたはメールなどでお申し込みください。
後日、「入場整理券」を送ります。

文献史料によれば、南部氏一族の金沢右京亮家光は金沢城に入りましたが、戦乱の中非業の死を遂げます。その幼子の家信は、家臣に抱かれて南部領に逃れ下久慈の城主となります。さらに、その子南部光信(のちの大浦光信)は、延徳3年(1491)鱒ヶ沢町種里城に入部し、光信から数えて5代目の大浦為信(のちの津軽為信)は南部氏から独立して初代津軽藩主となり津軽統一を果たします。

津軽藩始祖とされる大浦光信が鱒ヶ沢町に入部して530年を迎えた今年10月、ゆかりの5市町は歴史的なつながりを後世に伝え、交流の輪を広げていくことを宣言しました。これを記念して今年度の公開講座は、青森県の研究者を講師に迎え、金沢柵・金沢城・津軽氏城跡を中心に古代と中世の城と館を分かりやすくお伝えします。また同時開催として、鱒ヶ沢町にある「光信公の館」が国指定史跡種里城跡の発掘資料などを横手市に出張展示します。



津軽家略系図



令和2年度

「光信公の館」出張展示会

11月22日(日)~12月6日(日)

9:00~15:00 (6日は13:00まで)

横手市金沢孔城館 (横手市金沢中野)

■主催：鱒ヶ沢町教育委員会
■共催：横手市教育委員会
■協力：歴史文化の里づくりをすすめる会

入場無料



光信公の館

新型コロナウイルス感染予防のお願い ●発熱や体調が優れない場合は、御来場をお控えください。 ●マスクを着用して御来場ください。

問合せ先：横手市教育委員会教育総務部文化財保護課
TEL 0182-32-2403 FAX 0182-32-4034 E-mail: bunkazaihogo@city.yokote.lg.jp

資料目次

報告 1 「金沢柵推定地金沢城跡西麓部の調査成果速報」

藤原正大(横手市教育委員会)・・・・・・・・・・ 1-1 ～ 1-4

報告 2 「金沢柵から金沢城へ」

島田祐悦(横手市教育委員会)・・・・・・・・・・ 2-1 ～ 2-20

講演 1 「大浦光信と津軽氏」

中田書矢氏(鱒ヶ沢町教育委員会)・・・・・・・・・・ 3-1 ～ 3-14

講演 2 「金沢右京亮とは何者か」

若松啓文氏(東北史学会)・・・・・・・・・・ 4-1 ～ 4-8

特別講演 「古代と中世の城と館」

工藤清泰氏(東北中世考古学会)・・・・・・・・・・ 5-1 ～ 5-27

参考資料 「横手市と弘前藩」

横手郷土史資料・横手市史より抜粋・・・・・・・・・・ 6-1 ～ 6-11